

令和 7 (2025) 年度 事 業 報 告 書

特定非営利活動法人 シャーロックホームズ

1 事業の成果

令和 7 年度は、地域子育て支援拠点事業および放課後キッズクラブ事業において、次期 5 年間の運営に関する再選定が行われた年度であった。地域の皆様や関係機関のご理解とご協力のもと、いずれの事業も次年度以降の継続運営が決定し、引き続き地域に根差した事業運営を担うこととなった。

子育て支援部門では、子どもが小さいうちに保育園へ入所する家庭が増えており、各拠点の利用は 0～1 歳児の親子に集中する傾向が見られた。放課後キッズクラブでは、共働き家庭の増加等を背景に利用児童数が年々増加しており、子どもたちの放課後の居場所としての役割がますます大きくなっている。

その一方で、地域とのつながりの希薄化も進んでおり、子育て世代が孤立しやすい状況を現場で実感している。私たちは、「居場所づくり」と「情報発信」の両面から、人と人がつながるきっかけをつくることの重要性を改めて感じている。各事業において、親子や地域住民が安心して関わり合える場づくりに取り組み、孤立を防ぎながら、地域の中で支え合える関係づくりを大切に活動を行った。

① 青少年健全育成の推進

【放課後キッズクラブ】

小学生の放課後の居場所として定着しているキッズクラブは、年々利用児童数が増加している。障害のある児童の利用も多く、障害の有無や学年を問わず、子どもたちが自然に関わり合いながら過ごす交流の場となっている。また、地域の方々との交流の機会も設け、地域に根差した居場所としての役割も担っている。

日々子どもたちと接するスタッフは、研修を重ねながら支援の質の向上に努めている。以前に比べ、研修体制や給与面、職場としての位置づけも改善され、長く活躍するスタッフも増えてきた。利用児童数の増加に伴い、活動場所やスタッフ確保などの課題はあるものの、各クラブで工夫を重ねながら運営を行っている。

また、キッズクラブの卒業生がスタッフとして活躍する姿も見られるようになり、子どもたちの育ちが地域の担い手へとつながっている。今後も、子どもたちが安心して過ごせる放課後の居場所として、地域とともに運営を続けていきたい。

② 子育て支援の推進

【西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート】

5 年目の運営となり、拠点内での居場所事業に加えて、拠点外の活動の充実、さらには区内外の子育て支援の外部機関のネットワークの垣根や世代の垣根を越えての子育て支援を実施することができた。

◆ひろばでは、多様な養育者のためのイベントを実施した。子サポも含めた日曜開館を年 2 回実施し、その中で利用者仕切りによる父親のトークの場を設けた。進行役のパパたちの発案で、「育休レガシーノート」ファイルが誕生、次世代へつないでいく支援の循環が生まれている。祖父母向けのイベントを 3 月に初開催し、祖父母のみならず、地域の支援者も参加した。

教育委員会のプログラムに初参加し、小学生を拠点に迎えて育児について学び親子とふれあう機会も作った。他にも地域の小学生を拠点に迎えるなどの取り組みを実施している。

また、保育園に入園する子どもが増え 0,1 歳児の比率があがってしまっていることへの対策として、段ボールを使った手押し車やひっぱる箱を親子一緒に製作し、それを使って遊ぶなど、大きい子向けの取り組みを実施した。

夕方拠点がクローズしたあとに実施した初開催の「夕焼けピクニック」では、利用者家族とスタッフがともに食べ物を囲むことで気持ちがゆったりし、利用者同士の交流がさらに深まった。

◆拠点外では、区内の 4 ケアプラザとの協働事業として新たな父親支援のイベント「パパのための離乳食講座」、サポートが必要な子を持つ養育者向けの「就学の話」、一般支援者とケアプラザの専門職向けをわけて「ダブルケア講座」を実施した。他にもネットワー

ク・人材育成事業としては、主任児童委員や PTA と連携を図り、中学生に向けたふれあい体験授業を区内の 3 校で実施した。神奈川大学のマネジメントプログラムでは 2025 年度は地域の居場所を取材し、利用者にとどくように動画にまとめてインスタにアップした。学生が活動することにより利用者への周知が図れたことはもちろん、担い手にもより好意的に受け入れられた。

主任児童委員や各地区の民生委員・児童委員、町内会連合会などの会合に出向いた他、第 5 期にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）の策定時に利用者への周知や意見募集時に協力するなど、さらに区内関係機関との連携を深め、拠点の取り組みに活かした。

また、拠点外の外遊びプログラムとして、子育て関連施設連絡会で「公園にいてみよう」イベントを 5 回実施したところ非常に好評で、養育者の外遊びニーズが高いことがわかり、次年度も継続実施していく。

◆情報発信では、公式サイトをさらに利用者が利用しやすいようブラッシュアップした他、「子育て航海図」のサイズを大きくし、利用者の写真やコメントを盛りこんで、読み物として面白いものになるようにリニューアルした。

◆利用者支援事業では、ひとり親イベントの拡充を図った。前年同様のひとり親サポート共催イベントの他、新たに拠点利用者のためのおしゃべり会を夕方に関き、利用者同士の情報交換の場をつくった。アウトリーチでは、中央図書館への出張を開始し、拠点利用者とは違う層の養育者への支援も行った。また、療育のソーシャルワーカーによる年 4 回の専門相談も開始した。

◆子育てサポートシステムでは、前年度に引き続いておためし券をきっかけとした「ひろば預かり」、「利用会員宅預かり」が増加した。広報よこはま西区版 10 月号で 1 ページ全面を利用した提供会員募集の記事の効果もあり、提供・両方会員が 7 名増加し、コーディネートが広がった。

子育てタクシーの研修受け入れや、メガロスと取り組みなど、地域の企業との連携も継続している。

【親と子のつどいの広場】

西区・中区ともに、利用する子どもの年齢層が低年齢化しており、0～1 歳児の利用が中心となっている。中区では、イベントへの参加は以前ほど多くなく、日常的な居場所として利用する親子が増えている。一方で、年 4 回開催しているマルシェは利用が多く、広場を卒業した保護者が近況報告や相談に訪れる姿も見られ、継続的なつながりの場となっていることを感じている。

また、自宅ではなかなかできない体験として、夏場の水遊びは親子ともに好評であった。西区では、例年春は保育園入園に伴い利用者が減少する傾向にあるが、今年度はその状況が長く続いた。そのため、利用減少の要因分析を行い、後期は利用者増加に向けた取り組みに力を入れた。料金の見直しも実施し、来年度からは、より利用しやすい環境を整えていく予定である。

【子育て情報発信事業ベイ★キッズ】

計画通り毎週水曜日の LINE 配信と年 4 回の情報紙発行を行うことができた。マリン FM の番組担当も継続し、多様な媒体での情報発信に取り組んできた。情報紙印刷費や郵送料の値上げにより、情報紙作成に係る費用負担が増加しているため、配架先や発行部数の見直し及び、発送方法の変更を行った。

また、久しぶりに企業とのコラボイベントをスマイル・ポートと協働で実施することができた（横浜ワールドポーターズ、日本家庭教育研究会）。

【よこはま子育て情報スポット（横浜アンパンマンこどもミュージアム内）】

チラシやリーフレットの管理、掲示板の活用による情報提供に加え、市内の子育て支援に関する情報を収集・取材し、Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram などのソーシャルメディアを通じて発信を行った。また、ベイ★キッズ LINE では月 1 回のレポート配信を継続。リアルとオンラインを組み合わせた情報発信を通じて、スタッフ間の連携を図りながら、地域の子育て中の母親たちも巻き込み、支援の循環を生み出す仕組みづくりを目指している。

③ 行政・企業・市民が協働するために必要な事業

【ダブルケア事業】

一般社団法人ダブルケアサポートの事務局運営を担うとともに、地域子育て支援事業の中でもダブルケアに関する講座やイベントを実施し、支援の啓発に取り組んだ。

また、ダブルケアサポートがトヨタ財団の国際助成を受けて実施してきた「日本と韓国のダブルケアに関する学び合い事業」では、前年度に引き続き拠点スタッフがプロジェクトメンバーとして参画。プロジェクトでは、研究者と当事者・支援者が対等な立場で学び合う「共創型調査」という手法を用い、当事者の調査を進めた。その成果として、「日韓ダブルケア共同宣言」を作成し、シンポジウムで報告を行い、10月末をもって無事にプロジェクトを終了した。

今後は、このプロジェクトで得られた知見や当事者の声を各事業の運営や支援活動に活かしていくとともに、共同宣言や調査成果について広く周知を行い、ケアについて社会全体で考えるきっかけづくりにつなげていきたい。

④ その他

【法人全体研修】

令和7年度の法人全体研修は、2025年6月23日にZOOMにて開催した。

今年度は、現場スタッフから多く希望が寄せられていた「障がい児支援」をテーマとし、「発達支援の基礎知識と療育の仕組み ～『どうすればいい?』の答えを見つける視点としくみ～」を実施した。

近年、各事業において配慮を必要とする児童が増えており、現場では日々試行錯誤しながら対応を行っている。その中で、発達障害のある子どもたちがどのような支援や療育を受けながら成長していくのか、また、地域の支援体制がどのようなになっているのかを知るとは、支援現場において重要であると考え、法人全体で学ぶ機会を設けた。

研修では、発達支援に関する基礎知識だけでなく、子どもの行動をどのような視点で理解するか、支援につなげるためにどのような機関や制度があるのかについても学び、日々の支援を振り返る機会となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
青少年健全育成の推進	上菅田笹の丘小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	上菅田笹の丘 小学校 (保土ケ谷区)	33 人	3/末時点登録者 385 人 ・無料区分 175 人 ・有料区分 210 人 (ゆうやけ 169・ほしぞら 41)	61,412
	南太田小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	南太田小学校 (南区)	22 人	3/末時点登録者 224 人 ・無料区分 121 人 ・有料区分 103 人 (ゆうやけ 72・ほしぞら 31)	40,008
	浅間台小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	浅間台小学校 (西区)	21 人	3/末時点登録者 173 人 ・無料区分 97 人 ・有料区分 76 人 (ゆうやけ 63・ほしぞら 13)	40,234
	本牧小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	本牧小学校 (中区)	18 人	3/末時点登録者 135 人 ・無料区分 95 人 ・有料区分 40 人 (ゆうやけ 29・ほしぞら 11)	23,112

子育て支援の推進	親と子のつどいの広場シャーロック BABy (横浜市)	4/1 ～ 3/31	西区南軽井沢	8 人	未就学児の親子 延べ 1015 組 2086 人、 一時預り 47 人	9,798 ※西区社協助 成含
	親と子のつどいの広場シャーロック BABy 本牧(横浜市)	4/1 ～ 3/31	中区本牧和田	7 人	未就学児の親子 延べ 1442 組 3001 人、 一時預り 97 人	9,394
	西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート(横浜市西区) ・広場運営 ・利用者支援事業 ・子育てサポートシステム	4/1 ～ 3/31	西区みなとみらい	20 人	未就学児の親子 延べ 17,137 人	4,837 ※プレパ°ママ 等事業委託費 含
	よこはま子育て情報スポット (横浜市)	4/1 ～ 3/31	横浜アンパンマンこどもミュージアム内(西区)	7 人	子育て中の親子・子育て支援者・来館者	1,368
	ベイ★キッズ (自主事業)	4/1 ～ 3/31	横浜市全域	6 人	妊娠中～小学生の保護者及び関係者	1,728
市民との協	ダブルケア事業 (自主事業)	随 時	西区南軽井沢	1 人	全国のダブルケア当事者、支援者等	107

※従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数は令和 8 年 3 月末時点。

※放課後キッズクラブの事業費には補助金戻入 14,404,727 円(上笹 4,909,323、南 5,123,136、浅 2,940,003、本牧 1,432,265)を含む。

※高齢者等、異世代交流の推進等に関する事業は単体ではなく上記各事業に含む。

(2)その他の事業

実施なし

法人名： 特定非営利活動法人シャーロックホームズ

活動計算書

2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正準会員受取会費	349,000		
賛助会員受取会費	0	349,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	100,000	100,000	
3. 事業収益			
A受託事業収益	48,760,310		
C補助金事業収益(利用料等)	21,018,920		
D自主事業収益	1,469,729	71,248,959	
4. 受取補助金等			
受取補助金	164,184,110		
受取助成金	1,040,000	165,224,110	
5. その他収益			
受取利息	64		
雑収入	0	64	
経常収益計			236,922,133
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	168,234,243		
通勤手当	4,051,997		
法定福利費	15,588,309		
福利厚生費	103,036		
人件費計	187,977,585		
(2)その他経費			
旅費交通費	225,753		
諸謝金	1,161,644		
印刷製本費	1,197,639		
会議費	44,645		
地代家賃	5,026,550		
光熱水費	365,719		
通信運搬費	1,830,850		
広告宣伝費	1,631,623		
消耗品費	1,539,007		
備品購入費	365,532		
修繕費	131,733		
新聞図書費	19,389		
事業費	5,920,124		
研修費	137,523		
支払手数料	58,712		
管理運営費(キッズ)	7,557,130		
児童処遇費(キッズ)	4,243,687		
諸会費	8,000		
支払報酬	568,334		
保険料	171,340		
リース料	731,418		
補助金戻入金(キッズ)	14,404,727		
租税公課	20,000		
減価償却費	94,587		
その他経費計	47,455,666		
事業費計		235,433,251	

(単位:円)

科 目	金 額		
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	249,054		
人件費計	249,054		
(2) その他経費			
通信費	18,210		
水道光熱費	5,418		
旅費交通費	3,708		
広告宣伝費	15,742		
接待交際費	43,000		
会議費	50,842		
事務用消耗品費	17,238		
新聞図書費	411		
印刷経費	7,916		
修繕費	18,817		
地代家賃	22,500		
支払手数料	4,757		
リース料	14,425		
保険料	7,074		
租税公課	600		
諸会費	45,385		
支払報酬	23,466		
雑損失	33,836		
その他経費計	333,345		
管理費計		582,399	
経常費用計			236,015,650
当期経常増減額			906,483
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			906,483
法人税・住民税及び事業税			74,500
当期正味財産増減額			831,983
前期繰越正味財産額			12,801,804
次期繰越正味財産額			13,633,787

貸借対照表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和8(2026)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ	
科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	837,396		
預金	41,130,176		
(うち周年事業積立預金)	(300,000)		
売掛金	2,527,510		
未収金	960,600		
前払費用	627,284		
立替金	891		
仮払金	0		
流動資産合計		46,083,857	
2 固定資産			
什器 備品	616,595		
敷金	954,008		
固定資産合計		1,570,603	
資産合計			47,654,460
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	30,079,794		
前受金	348,000		
預り金	2,900,319		
仮受金	692,560		
流動負債合計		34,020,673	
負債合計			34,020,673
III 正味財産の部			
正味財産			13,633,787
(当期正味財産増加額)			831,983
負債及び正味財産合計			47,654,460

注記: 預金残高のうち300,000円は、将来の周年事業開催に備えた積立相当額です。

貸借対照表

(その他の事業会計)

令和8(2026)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人シャーロックホームズ
--------------	---------------------

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
預金	0		
未収金	0		
前払費用	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
什器備品	0		
ソフトウェア	0		
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			0
(当期正味財産増加額)			0
負債及び正味財産合計			0

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和8(2026)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ		
科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	現金手許有高	837,396		
普通預金	横浜銀行反町支店	3,450,078		
	横浜銀行市庁支店	30,813,736		
	横浜銀行本店営業部	6,293,153		
	ゆうちょ銀行	573,209		
売掛金	(事業収入)	2,527,510		
未収金	(事業収入)	960,600		
前払費用		627,284		
立替金		891		
	流動資産合計		46,083,857	
2 固定資産				
什器 備品		616,595		
敷金		954,008		
	固定資産合計		1,570,603	
	資産合計			47,654,460
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	(3月分の人件費・法人税・補助金戻入等)	30,079,794		
前受金	(次年度分の会費)	348,000		
預り金	(源泉所得税・社会保険等)	2,900,319		
仮受金	(冊子売上、保険料)	692,560		
	流動負債合計		34,020,673	
	負債合計			34,020,673
	正味財産			13,633,787

財 産 目 録

(その他の事業会計)

令和8(2026)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人シャーロックホームズ
--------------	---------------------

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産		0	
現金預金 現金手許有高	0		
普通預金	0		
前払費用	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
什器備品	0		
ソフトウェア	0		
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0